平成24年度第1回大和市文化財保護審議会会議 会議録

会議名 (審議会等の名称)		平成24年度第1回文化財保護審議会
開催日時		平成24年8月24日(金曜日)15時~17時
開催場所		大和市役所2階教育委員会室
出席状況	委員	4人
	その他	0人
	事務局	文化スポーツ部長、文化振興課長、市史・文化財担当係長、他担当1名(計4人)文化スポーツ部文化振興課市史・文化財担当 内線(5225)
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		■公開 □非公開 □一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由		
審議又は検討経過及び結果		(1)会議次第 1、平成24年度市史・文化財事業について 2、平成23年度郷土民家園の指定管理業務の評価について 3、その他 (2)審議及び結果 主な内容は次のとおり 1、平成24年度市史・文化財事業について説明 ●意見 ・市史編纂事業終了後、資料の収集などを行わなくなる自治体もある中で、大和市は資料の収集及び聞き取り調査などを継続し、「市史資料叢書」及び「市史研究」を発行している点について、今後新たな市史を刊行する際にもプラスになるので、ぜひ継続して欲しい。 ・文化財映像記録作成について、平成25年度にこれまで撮りためた映像記録の編集作業を行うとのことだが、その際に昭和30~40年代頃の映像と比べていくと、服装や供物(藁苞)などの変化を見ることができるので、古い映像があれば比較をしてみるのもよい。 ・深見の一ノ関にある石造物(双体立像)の損傷が激しい。この石造物については、柳田國男も訪れたというゆかりの場所でもあるので、対応を検討していただきたい。⇒早急に現地を確認し、検討する。 ・市内の石造物について、やまと歴史マップに載せるなどして啓発を行った方がよい。 ・曹の写真をテーマにした展示などは集客率が高い。市民も自分の住んでいる場所の昔の風景など興味があると思うので、以前に発行した「大和写真館」の続編を作るのもよい。 ・予算の関係もあると思うが、企画展パンフレットはカラー刷りの方がよりよいものになる。 ・市内3館をPRするビデオドラマは市役所や市立病院に設置されているTVで映すなどして紹介するのもよい。 ・シラカシ林の剪定後に行う新たな苗の植樹について、最近では遺伝子交配の問題もあるので、苗は外から持ってくるのではなく、同じシラカシ林内から育てた苗を植樹することが望ましい。

2、郷土民家園及の指定管理業務の評価について協議

- ●評価
- 郷土民家園
- ①指定管理者として、協定書などに則り業務を実施している。
- ②郷土民家園の特色を生かした多様な事業のみならず、地域の団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地元に一層根付いた事業を展開している。

●その他意見

- ・現在、郷土民家園には民俗分野を専門とした学芸員が配置されているが、しらかしの家も含め、人文系だけでなく、自然系の分野の学芸員も配置すると、より活性化した運営ができるのではないか。
- ・現在市内にある3館はいずれも博物館施設ではなく、展示スペースにも限りがある状態である。ハード面が難しければソフト面の充実を図るということで、学芸員有資格者などの人材の確保をしっかりと行い、人の力でカバーしていく必要がある。

3、その他

特になし。